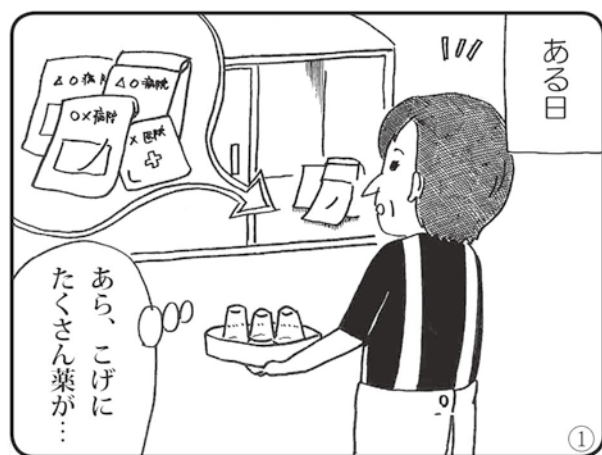


地域でともに暮らそう大切な人

はじめに

皆さん、『認知症』ってご存知ですか？『認知症』は誰にでも起こりうる脳の病気です。脳の働きが悪くなるために、今まで当たり前前にできていたことができなくなったり、物忘れがひどくなったりして、日常生活がうまくできなくなるのが認知症の症状です。認知症になると、自分が自分でなくなるような不安を抱え、とても悲しい気持ちになります。しかし、まわりの温かい見守りや接し方次第で、住みなれた地域で安心して暮らすことができるのです。今回から数回にわたって認知症についてご紹介します。私たちにできることは何か、一緒に考えてみましょう。

第1回 『「おかしいな」と思ったら早めに相談を』の巻



登場人物



ヨシ子さん
(82歳)



百合子さん
(53歳)

日南ヨシ子さんは、日南町で一人暮らしをしています。ヨシ子さんは近所付き合いもよく、畑仕事のかたわらグラウンド・ゴルフや俳句の会にも参加し、友人もたくさんいます。長男と次男は県外に住んでいます。長女の百合子さんは日南町から車で1時間くらいの所に住んでいます。百合子さんは週に一度、買い物や家事などを手伝っているようです。

しかし、ある日、百合子さんはヨシ子さんのいつもと違う様子を感じ取りました。

もともと几帳面な性格
のヨシ子さん。
薬ののみ忘れや、今
あった事を忘れてし
まっているようです。
心配になった百合子さ
んはヨシ子さんと病院
に行きました。

(8)



(4)



(9)



(5)

＜認知症早期発見のメリット＞

①認知症かどうか、何が原因の認知症かを診断することができれば、早く治療を始めることができ、周囲の理解の中で暮らしていくことが期待できます。

原因によっては治る症状もあります。

②本人と家族が将来について考える時間を持つことができ、本人と家族を支援する体制を整えることができます。

◎普段の生活のなかで、「ちょっとした変化」や「おかしいな」と思ったら歳のせいにしてないで早めに医療機関に相談しましょう。



(6)

＜認知症の物忘れと普通の物忘れの違い＞

例えば、普通の物忘れは電話の相手の名前が浮かんでこなかったりする記憶の一部を忘れます。しかし、認知症の物忘れはヨシ子さんのように電話がかかってきたこと自体を忘れてしまうのが特徴です。



(7)